

部 位	仕 様	色	備 考
床	床の全面乾式化改修を実施する。 長尺塩ビシートt=2.0	参考品番 20FL1501	抗菌、消臭加工品とする
壁	壁の全面改修を実施する。 【既存タイル・仕上げのままの場合】 下地調整の上、不燃メラミン化粧板 t=3.0(塩ビジョイナー納め) 【LGS下地共の場合】 シーリング石膏ボードt=12.5 +不燃メラミン化粧板t=3.0 (塩ビジョイナー納め)		
天井	天井の全面改修を実施する。 化粧石膏ボードt=9.5		

工法

- ・在来工法(床のハツリ、穴埋めを行う工法)を基本とする。
- ・予算上の都合等によりリモデル工法にて行う場合は原則1階のみ可とする。

便座

- ・暖房、ウォシュレット機能付き：白系
- ・LIXIL又はTOTOを基本とする。（他のメーカーを禁止とするものではありません。）

小便器

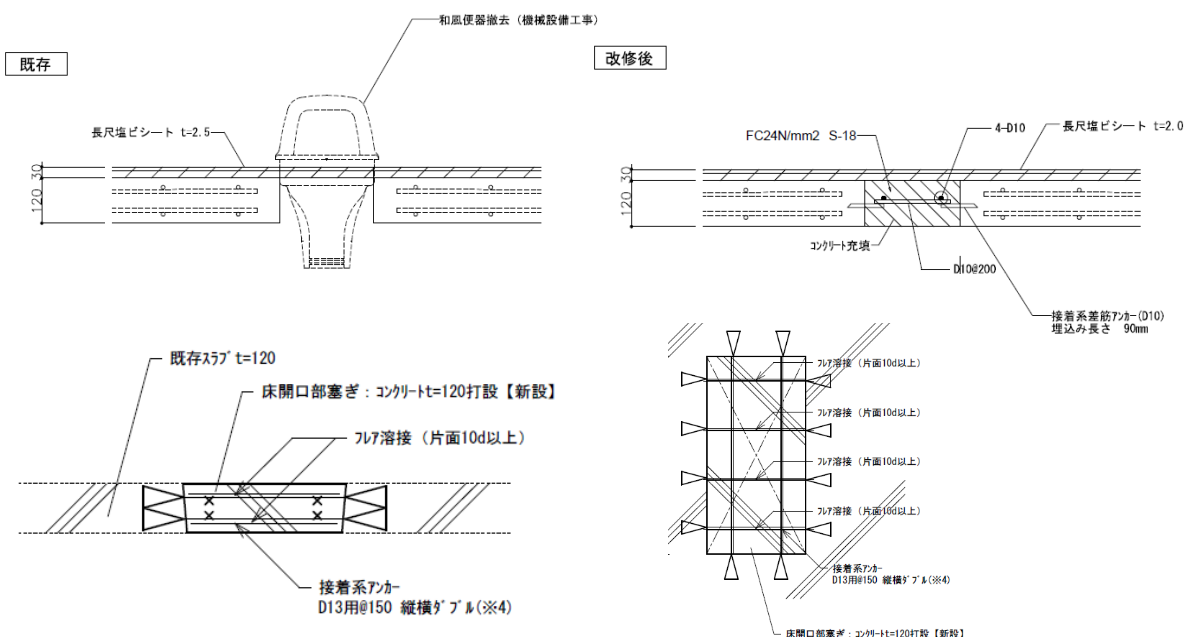
- ・壁掛け低リップ型を基本とするが、既存床下配管再利用の場合においては床置き型も可とする。

トイレブース

- ・外開きを基本とする。便所内の広さによっては内開きも可とする。
- ・外開き:1,200 mm×900 mm程度(長辺は内法寸法を最低 1,100 mmは確保すること)
- ・内開き:1,300 mm×900 mm程度
- ・笠木カバーを設置する。

便器撤去後の床補修

- ・コンクリート強度：設計基準強度(竣工図面に記載の強度)+3or6N/m²(温度補正)
(設計基準強度が不明な場合は、F_c24+温度補正 スランプ 18 以上のコンクリートを最低限使用すること)
- ・使用鉄筋径は竣工図記載の径とする。
- ・配筋は縦横共ダブル配筋を基本とするが、開口幅やスラブ厚さによってはシングル配筋も可とする。
- ・差筋アンカーについては、基本的に接着系のアンカーを使用すること。
- ・鉄筋の定着長さは 10d 以上かつ 150 mm 以上とする。確保が難しい場合にはフレア溶接も可とする。



そ の 他

- ・耐力壁・柱・梁への穴開けは禁止する。
 - ・防火区画に配管配線を行う際は、防火区画貫通処理を施すこと。
 - ・配線は腐食及び美観に配慮し、原則露出しないようにすること。（露出する場合はモール等で覆うこと。）
 - ・手洗いは自動水栓とする。電源は電気式とすること。
- （不使用期間が短く放電の恐れが無い箇所については自己発電タイプも可とする。）
- ・手洗いは電気温水器付きとする。
 - ・照明器具は LED 照明器具とし、人感センサー付き自動スイッチによるものとする。
 - ・使用水は安定供給の観点から市水を基本とする。
 - ・換気扇は更新するものとし、系統は既存系統と同様とする。
 - ・配管洗浄の可否の判断をすること。
 - ・暖房設備については、凍結防止ヒーター程度とする。